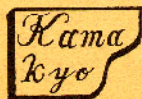


鎌倉交響樂團

第19回定期演奏會

5月28日(日) P.M.2:00

鎌倉市中央公民館



鎌倉交響楽団第19回定期演奏会

後援 鎌倉市教育委員会

鎌倉音楽クラブ

曲 目

指揮 吉水 洋

1. 序曲 セミラーミテ：ロッシーニ

2. ピアノ協奏曲 第20番 ニ短調 K.466：モーツアルト

独奏 鈴木 寛子

アレグロ

ロマンス

アレグロ ロンド アッサイ

—— 休 憩 ——

3. 交響曲第一番 ハ長調 op.21：ベートーベン

アダージョ モルト——アレグロ コン プリオ

アンダンテ カンタービレ コン モト

アレグロ モルト エ ヴィヴァーチェ

アダージョ——アレグロ モルト ヴィヴァーチェ

4. 舞踊組曲 ガヤーネ：ハチャトウーリヤン

バラの乙女の踊り

子 守 歌

剣 の 舞

ピアニスト紹介

鈴木 寛子 さん

鎌倉市材木座5 8-12

昭和45年3月 東京芸術大学卒業

安田輝子、伊達 純、井口秋子の各氏についてピアノを学ぶ。
現在東京芸術大学ピアノ科副手。趣味は読書、山を歩くことなどなど……。

曲目解説

序曲 歌劇：セミラーミデ

1820年に書かれたもので、他に有名なものは「ウィリアム・テル」「セビリアの理髮師」等がある。劇場音楽としての歌劇を多く作曲している。従来イタリア人の不得意とした管弦楽法に長じていること、流暢な旋律が随所に盛り込まれていて、他に類を見ないクレッシェンドの活用、手堅い構成力などを考え併せてかかれており、イタリア古典歌劇最後の作曲者である。

ピアノ協奏曲 第20番 ニ短調 K.466

「モーツァルトが数多くの芸術家の中でもあれほど特異な存在であるのは、恐ろしさと優しい官能的喜びとの二つの性質が結びついているが故である。…」というスタンダーの評語はK.466のピアノ協奏曲にも、大体あてはまる。全部で27曲のピアノ協奏曲のうち、晩年の数曲は殊にすぐれているが、この20番ニ短調の曲は、それらの名作群の“引き金”となったものであり、人によっては最高傑作と言いきる。

劇的要素（恐ろしき）は暗雲のように全篇に覆いかぶさり、時折り雲間をよぎる柔らかな日ざしのように甘美な感傷性（官能的喜び）が顔をのぞかせる。

中広い強弱の対比と強い明暗にいろどられた印象深い作品で、古典的均衡にめぐまれてはいるが、その枠を越えた近代性をも兼ね備えた協奏曲作品であることがわかる。

モーツァルトは短調の持つ陰影を利用して何曲かの名作を書き残したが、このピアノ協奏曲はト短調のシンフォニー（40番）にも比肩する。いや劇的效果は、シンフォニーよりも、この曲の方が多く持っているかも知れない。これはモーツァルトの世界をとり出して、人類文化史上の創作の奇蹟として結晶した稀有の音楽的造型であると思う。

作曲者29才の1785年2月10日の作で、依頼者はなく、彼自身の独奏と指揮によって同年3月20日ウィーンにおける演奏会で初演された。

交響曲 第一番 ハ長調 op.21

この曲の初演の際の批評によれば、「一最後に彼の作曲した交響曲が演奏された。これは多くの芸術性と珍奇さと内容の豊かさを示した作品であった。ただ、管楽器の使用が多すぎて、管絃楽というよりはプラス・バンドの音に聞えた」ということである。また「交響曲の第二部〔第2楽章〕で彼らはひどく沈滞してしまい、指揮棒にさえ従わなかった」とある。このときのオーケストラは立派なプロで、ウィーン・ブルク劇場において演奏されたというから、多分同劇場のオペラ用管絃楽団がたつたらしい。しかし初演ということで実力の何分の1しか発揮出来なかったのだろう。その点嫌響の団員は過去にも演奏経験があるし、レコードその他でこの曲はくり返し愛聴しているので、安心である。のみならず、最近ではT・Vの商業のお蔭でこの曲は第5シンフォニーよりも有名になったので、地下のベートーベンもよろこんでいる。

じょう談はさておき、この曲は29才の作であり、1800年の4月2日に前述したブルク劇場で初演されたが、これはベートーベンがウィーンで催した最初の公開演奏会であった。それまでのハイドン、モーツァルト流の貴族的交響曲にくらべれば音量も大きく、表現もやや大衆的で新鮮味があつて、強引さというか、ベートーベンの説得力に満ちているのも、そのような大音楽会向けということによる。

作曲技法は18世紀の既成の管絃楽法を使用していて、いわゆるハイドン形式を大體そのまま使っているが、和音のびびきはさすがに新しい。展開部はまだ小規模であり、第三楽章も古典型式のメヌエット風であつて、ベートーベンのスケルツォにはなりきっていない。終楽章は無邪気なふん囲気のものでベルリオーズは「子供の音楽」と呼んだそうである。筆者が演奏していて気づいたこととはこの曲はすみずみまでまるで楷書のようにきちんとしていて、いかにも青年ベートーベンの最初の交響楽らしいということである。

舞踊組曲 ガヤーネ

ハチャトゥーリアンはプロコフィエフ、ショスタコビッチと並んで、ソヴィエットの三大作曲家の一人に数えられている。彼の最大傑作であるこの曲は1942年12月レニングラードで初演された。このバレエは、アルメニアのコルホルズに起った反祖國的陰謀を純情な女性ガヤーネが暴露するという筋のもので、そこには外コーカサスの様々な民族舞曲が巧みにおりこまれており、本日はこの中から三曲を演奏する。なおこの曲は1934年度のスターリン賞第1位に入賞している。

鎌倉交響楽団メンバー

名誉指揮者 東 清 蔵
 常任指揮者 前 田 幸 市 郎
 副常任指揮者 吉 水 洋

(順不同)

Violin	遠藤久美子 丹下慶子 生田千子 徳永信子 桐本圭三 村上和歌子	大藤二子 二瓶井川 十関武 田武橋 田平松 村服	ゆき典利 子章健 由子 武定 朗 智 甚	鈴木橋久仁子 木山美和子 小笠原綾子 長峯忠雄 深谷郁哲 相沢哲也 日比谷平一郎 榑田孝潔 和山元一 佐藤八允 石井木滋	服部美知子 清水潤一 永江正裕 村尾裕子	薬師寺厚清 水上吉正 松珠川健子 栗山明典 宇野明
Viola	丹治江子 阿部黎子 伊沢作康 前田幸郎	服村山部 浄法寺 谷沢	合伶子 山本謙寛 古藤	山本晃二		
Violoncello	大内日秀夫 荻野守子	河合伶子 山本謙寛 古藤	山本晃二			
Double Bass	大内日秀夫 荻野守子	河合伶子 山本謙寛 古藤	山本晃二			
Flute	大内日秀夫 荻野守子	河合伶子 山本謙寛 古藤	山本晃二			
Oboe	大内日秀夫 荻野守子	河合伶子 山本謙寛 古藤	山本晃二			
Bassoon	大内日秀夫 荻野守子	河合伶子 山本謙寛 古藤	山本晃二			
Clarinet	大内日秀夫 荻野守子	河合伶子 山本謙寛 古藤	山本晃二			
Horn	徳永正剛 齐藤昭夫	黒岩貞雄 重松備紀 重田昇 元松信男	高橋善彦 掛川忠良 小長谷宗一			
Trumpet	岩沢忠夫 上原誠弘	黒岩貞雄 重松備紀 重田昇 元松信男	高橋善彦 掛川忠良 小長谷宗一			
Trombone	岩沢忠夫 上原誠弘	黒岩貞雄 重松備紀 重田昇 元松信男	高橋善彦 掛川忠良 小長谷宗一			
Timpani & Percussion	上原誠弘 河野田弘	黒岩貞雄 重松備紀 重田昇 元松信男	高橋善彦 掛川忠良 小長谷宗一			
Assistant Conductor	高橋誠也	矢崎彦太郎				
Stage manager	清岡道男	烏谷正俊				

第20回定期演奏会 予告 //

11月25日(土)午後7:00時

鎌倉市中央公民館

曲目：モーツァルト 交響曲 第40番 ト短調 K.550

ドヴォルザーク チェロ協奏曲 ロ短調 他

ブラウスコーナー

し判を主に各種
取揃えてお待ち
申し上げます

手芸コーナー

夏物手芸品が
いろいろと入荷
致しました

ブラウス・手芸品・毛糸の店

イワタ

由比ヶ浜銀座六地藏際

TEL (22) 1501

レコード、ミュージックテープ

カセット、楽器

ステレオ

静岡↔神奈川20店でむすぶ

音の専門店

すみや

小町1-5-7

あけぼのビル 1階

TEL 24 1277

ごはんどころ

小料理

との山

扇ガ谷正宗鍛冶店前

TEL. 24-3086

名物

おぞうにと

喫茶の店

ガーデン

若宮大路ボーリング場隣り

TEL. 22-2726

洋服の

オーダーメイドは

鎌倉テーラー

代表者 井川清太郎

由比ヶ浜通り

TEL. (22) 2408

伝統を生かした最高の味

千羽鶴サブレ

フランス風ビスケット



風月堂

ほんそれいゆ

由比が浜店 TEL. (22)0963(代)

鎌倉表駅前店 TEL. (22)2538

逗子店 TEL. (71)4730

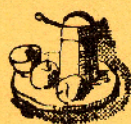
江の電藤沢駅名店街

TEL. (25)8621

江の電鎌倉駅名店街

TEL. (23) 792

フランス料理



小町園

横須賀線下馬ガード脇

TEL. (22) 2370

いつでも安く

何んでも揃う……

鎌倉 ダルマ薬品

鎌倉小町通り中央 TEL (22)2594・0842

ご家庭に経済の安定を約束する

クスリ・化粧品・雑貨

食品・缶詰・菓子

ナイガイ

鎌倉裏駅前 TEL (22)2430